

## 採点基準 世界史

- ※ 以下の加点ポイントは目安です (加点ポイントは < > でくり、得点を ○ の中に記入)。実際は個々の答案の状況に応じて採点しています。
- ※ 学習の成果を少しでも拾いたいため、部分点はできるだけ与える方向で採点していますが、実際の入試では同じ扱いとは限りません。完全な答案を目指して、しっかり復習しましょう！

### I 奉天軍閥・中国共産党・日本と国民党の関わり (配点 20 点)

- ※ 6 行目に入っている答案を採点対象とする。
- ※ 15 行目に入っていない答案は、加点ポイントを満たしていても満点にしない。(以上 III も同)

#### <1 奉天軍閥>

- ① 奉天軍閥が北京政府の実権を握っていたこと…1 点
- ② 奉天軍閥の首領が張作霖であったこと…1 点
- ③ 国民党の北伐によって、奉天軍閥が敗走したこと…1 点
- ④ 張作霖が爆殺されたこと (奉天事件) …1 点
- ⑤ ④ は日本軍 (関東軍) の策謀によること…1 点
- ⑥ 張学良が蒋介石 (国民党) に接近したこと…1 点
- ⑦ 国民党の北伐 (中国の統一) が完成したこと…1 点

#### <2 中国共産党>

- ① 北伐開始時に、中国で共産党の勢力が拡大していたこと…1 点
  - ※ 「上海で五・三〇運動が起こった」ことに言及しても可
- ② 上海クーデタで共産党が弾圧されたこと…1 点
- ③ 共産党 (紅軍) の活動拠点を農村部 (中国南方) に移したこと…1 点
- ④ (江西省の) 瑞金を拠点にして共産党が勢力を維持したこと…1 点
- ⑤ 国民党による攻撃が続いた (国共の抗争が続いた) こと…1 点
- ⑥ (陝西省の) 延安まで長征 (西遷) を行ったこと…1 点
- ⑦ 国民党との合作を呼びかけたこと…1 点
  - ※ 「統一戦線樹立を呼びかけた」なども可
- ⑧ ⑦ の声明：八・一宣言…1 点
- ⑨ 国民党が合作を拒否したこと…1 点
- ⑩ 西安事件で蒋介石に対し国共合作の説得が行われたこと…1 点
- ⑪ 日中戦争勃発後、第 2 次国共合作が成立したこと…1 点
  - ※ 「西安事件が第 2 次国共合作の契機になった」なども可
- ⑫ 共産党の軍が国民党の指揮下に入ったこと…1 点
- ⑬ 第二次世界大戦後、国共内戦が再開されたこと…1 点
- ⑭ 国民党を台湾に追放したこと…1 点
- ⑮ 大陸に中華人民共和国を建国したこと…1 点

<3 日本>

- ① 山東出兵を起こしたこと…1点
- ② ①で国民党の北伐を妨害したこと…1点  
※「中国統一を阻止しようとした」なども可
- ③ 満州事変を起こしたこと…1点
- ④ 東北地方に満州国を建国したこと…1点
- ⑤ 国民党は満州国を黙認したこと…1点
- ⑥ 盧溝橋事件を機に日中戦争が始まったこと…1点
- ⑦ 南京や武漢を占領したこと…1点  
※「戦争が長期化し泥沼化した」なども可
- ⑧ 第二次世界大戦後、中国から撤退したこと…1点

<4 論理構成点> (=上記加点ポイントの他に、論理展開を意識している答案に与えるプラスアルファの点。論述問題の解答は、単に歴史用語をつなげればよいというわけではないことを受験者に理解してほしいために設けている。解答欄の右下欄外に、「12+R 1=13」などと記している。IIIも同)

- ① 奉天軍閥・共産党・日本を主語にしていて、各分量が適切であること…R 1  
※<1>・<2>・<3>の記述量は「1:2:1」程度
- ② <1>・<2>・<3>それぞれと国民党の関係が書けていること…R 1

II A 中国の通貨・税制と銀 B カビールの思想とシク教の歴史 (配点 30点)

- ※ 漢字の誤りは不可
- ※ ひらがな表記は不可
- ※ b音をv音で表記しているものは不可
- ※ 音引きの有無や位置が違うものは不可
- ※ 空欄の後の語句を入れてしまった場合は許容 (以上IVも同)

A

c 張叔大 可

(1) サルデイス 可

(4) 2点満点

- ① 租が穀物(粟など)の納入であること…1点  
※コメは不可
- ② 調が布(絹, 綿, 麻)の納入であること…1点  
※特産物は不可
- (6) ニクソン大統領, リチャード=ニクソン 可
- (7) 大森銀山 可
- (9)(イ) 丁銀 可

B

e セポイ 可

(12)(イ) アフマド=ガザーリー 可

(13) バクティ運動 許容

(15) リグ=ヴェーダ 不可

(16) アクバル 可

(17) 2点満点

① 厳格なイスラーム教徒（スンナ派）であること…1点

② 人頭税（ジズヤ）を復活したこと…1点

※「ヒンドゥー教徒などとの融和政策を転換（抑圧政策）した」「異教徒を迫害した」なども可

(21) パキスタン、パキスタン=イスラーム共和国 可

#### Ⅳ 古代ローマの元老院（配点 20点）

##### <1 共和政前期>

① 元老院は、王政期には王を補佐する機関であったらしいこと…1点

② （王政から）共和政という政治体制が始まったこと…1点

③ 共和政期には民会・元老院・コンスル（執政官・統領）などの国制があったこと…1点

④ 元老院は貴族（パトリキ）の議会であったこと…1点

⑤ 元老院が、事実上ローマの統治機関であった（コンスルを監督した）こと…1点

⑥ （重装歩兵として貢献した）平民（プレブス）の勢力が伸長したこと…1点

⑦ 平民会が設置されたこと…1点

※「リキニウス・セクスティウス法で平民の勢力が強まった」なども可

⑧ ホルテンシウス法が制定されたこと…1点

⑨ ⑧により平民会の議決が元老院の承認なしに国法となったこと…1点

##### <2 共和政後期>

① （海外領土の獲得で）共和政が危機に陥ったこと…1点

※「ローマ社会が変質した」なども可

② グラックス兄弟の改革は失敗したこと…1点

③ 元老院の権威を背景とした閥族派が形成されたこと…1点

④ 平民会を拠点とした平民派が形成されたこと…1点

⑤ 閥族派と平民派が争ったこと…1点

※「スラとマリウスが対立した」なども可

⑥ カエサル・ポンペイウスなどの有力者が台頭したこと…1点

⑦ 第1回三頭政治が始まったこと…1点

⑧ ⑦は元老院と対抗したこと…1点

##### <3 帝政前期 - 元首政期>

① （第2回三頭政治を経て）オクタウィアヌスが権力を掌握したこと…1点

② 元老院が①にアウグストゥス（尊厳者）という称号を与えたこと…1点

③ ①が元首政（プリンキパトゥス・帝政）を始めたこと…1点

④ 皇帝は元老院と協調したこと…1点

⑤ 共和政の伝統が尊重されたこと…1点

⑥ 五賢帝時代にも元老院との協調が保たれていたこと…1点

⑦ 元老院独自の立法が減少した（勅令の重要性が増した）こと…1点

⑧ 軍人皇帝時代には、元老院の権威が衰えたこと…1点

<4 帝政後期 - 専制君主政期>

- ① 専制君主政（ドミナトゥス）が始まったこと…1点
- ② ①はディオクレティアヌス帝によること…1点
- ③ 元老院は統治から退けられ形骸化したこと…1点
- ④ 共和政の伝統が一掃されたこと…1点
- ⑤ 元老院議員がローマの伝統的文化を継承したこと…1点

<5 論理構成点>

- ① <1>・<2>・<3>・<4>がバランスよく記されていること…R1点 ※<4>は少な目で可
- ② <1>ローマの統治機関 → <2>権力の維持（閥族派と平民派の対立） → <3>皇帝との協調 → <4>形骸化 以上の流れが明記されていること…R1点

Ⅳ A キリスト教の公会議の歴史 B 近代ヨーロッパの芸術思想 (配点 30点)

A

a コンスタンティヌス 可

(3) 2点満点

- ① 布教に聖像を利用していたため、聖像禁止令に反発したこと…1点
  - ② フランク王国に接近したこと…1点
- ※「ビザンツ帝国に対抗した」、「新たな政治的保護者を求めた」のみは不可

(8) ヤン=フス 可

(9) 1点満点

- ① 教皇レオ10世による贖宥状（免罪符）の販売…1点

(10) 2点満点

- ① 世俗君主（諸侯または王など）が領域内の教会を支配・統制したこと…1点
- ② 政治的影響：主権国家の形成が促進されたこと…1点

(11) スウェーデン王国 可

B

c ダニエル=デフォー 可

d ウジェーヌ=ドラクロワ 可

(14) ヨハン=ゴットリープ=フィヒテ 可

(15) セシル=ローズ 可

(16) 1点満点

- ① 農奴解放令を出したこと…1点

(17) 2点満点

- ① ユダヤ系軍人のドレフュスが有罪とされたこと…1点
  - ② 真犯人が判明したこと…1点
- ※「冤罪であった」なども可

(19)(イ) 2点満点

- ① スペインで人民戦線内閣が成立したこと…1点
- ② 軍人のフランコが反乱を起こしたこと…1点

(20)(ア) フランツ=カフカ 可

以上